

課 題

(1) 訪問診療・看護の担い手不足

- ①訪問診療医の育成
- ②訪問看護師の育成
- ③訪問診療新規参入事業所の定着
- ④小規模訪問事業所の管理者負担の軽減

(2) ときどき入院、ほぼ在宅の実現

(3) 自宅での看取り対応

(4) その他

- ①老々介護、老障介護、障障介護
- ②地域包括支援センター機能の充実

(5) 医療需要に備えた病床数の維持確保

(6) 既存病床の有効活用

(7) 病院施設の老朽化

(8) 病院機能やかかり方の啓発

重点課題

医療提供体制の充実

取組みの方向

- ①人材の育成・定着のための支援
- ②医療資源の有効活用
- ③病床の維持・確保

重点課題

在宅療養支援体制の充実

取組みの方向

- ①医療と介護の連携の推進
- ②医療関係者間の連携の促進
- ③在宅療養体制充実のための支援

取組みの事例

- ①訪問診療医の育成
在宅医療を現場で学ぶ仕組みづくり
- ②訪問看護師の育成
新規採用者の研修期間中の事業所支援
- ③在宅医療を検討している医師のマッチング
- ④小規模訪問事業所の運営支援
- ⑤病床使用状況の見える化
マッチング機能整備
- ⑥区内病院の施設状況調査
病床数の維持・確保のための支援

- ①急性期病棟から慢性期病棟への移行
※後方病院の空き状況の共有
- ②適切な訪問診療による入院需要の適正化
- ③多職種連携による24時間オンコール体制の確保
- ④円滑な退院支援体制の構築
- ⑤グループ診療のプラットフォームの構築
- ⑥急性期病院医師の定期的な訪問診療への参加の仕組みづくり
- ⑦定期的なレスパイト入院・入所先の確保
- ⑧在宅療養関連の病床確保や患者搬送事業の周知の強化
- ⑨ACPの普及啓発
・具体例の提示やマニュアル整備
・若年者へのアプローチ
- ⑩患者本人や家族ニーズの把握
- ⑪人材の定着・サポート医制度の強化
- ⑫病院機能やかかりつけ医に関する啓発や相談体制の強化